

淡路島のクワガタムシ

堀 田 久

淡路島のクワガタムシについては、1959年に発表したことがあり(兵庫生物, 3巻5号)また、本誌 No. 5, 6 (1968)には三浦照章氏が、ノコギリクワガタ、ヒラタクワガタ、コクワガタの3種を報告されている。

その後の採集品を加えて、淡路島産のクワガタムシは6種類になったので、これまでの知見を述べておきたいと思う。なお、次にあげた採集記録は、すべて筆者自身が採集し現在所有する標本によるものである。

クワガタムシ科 LUCANIDAE

1. ミヤマクワガタ *Lucanus maculifemoratus* Motschulsky
先山, 1♀, 8. VIII, 1951, 1♀, 3. VIII, 1952, 1♀, 12. VIII, 1952,
1♂, 11. VII, 1965
先山には普通に産するが、他ではまだ採集していない。本種は昼間クヌギの樹液に集まり、また樹上にもよくみられるが、夜間灯火に飛来することもある。
2. ノコギリクワガタ *Prosopocoilus inclinatus* Motschulsky
津名郡津名町志筑, 1♂, 5. VII, 1950; 先山, 1♀, 1. VIII, 1967;
洲本市安乎町, 1♀, 10. VI, 1970
島内の各地に産し個体数もかなり多い。本種は昼間でもクヌギやヤナギ等の樹液に集まるが、やはり夜間によく活動する。
3. ヒラタクワガタ *Dorcus titanus* Boisduval
津名郡津名町志筑, 1♂, 20. VI, 1950; 洲本市安乎町, 1♂1♀, 6. VII, 1973
島内の各地に産し個体数も多い。本種は昼間クヌギの樹の洞などにひそみ、夜間には外に出て活動する。
4. コクワガタ *Macrodorcas rectus* Motschulsky
先山, 1♂1♀, 8. VIII, 1970; 洲本市安乎町, 1♂1♀, 6. VII, 1973
島内の各地に産し個体数は最も多い。昼間でも活動することがあるが、おもに夜間樹液に集まり、また灯火にも飛来する。
5. スジクワガタ *Macrodorcas binervis* Motschulsky

先山, 1♂, 8. VIII, 1951; 洲本市安乎町, 1♀, 6. VII, 1973

コクワガタに混じって樹液に集まるが、個体数はコクワガタよりも少ない。洲本市由良町でも見たことがあり、島内の各地に産するものと思う。

6. ネプトクワガタ *Aegus laevicollis* Saunders

先山, 1♀, 8. VIII, 1970

先山にも少ないようで、他ではまだ採集していない。1950年にも先山で1頭採集したが、現在標本は残っていない。

クワガタ類の成虫越冬について

オオクワガタなどは成虫でよく越冬し、いくつかの報告例がみられる。筆者は、昨年夏洲本市安乎町で採集したヒラタクワガタ、コクワガタ、スジクワガタ、ノコギリクワガタと長野県で採集したアカアシクワガタをそれぞれ数頭ずつ、クヌギの朽木を入れた水槽で飼育してみた。今年の1月初旬にみるとコクワガタ、スジクワガタ、アカアシクワガタ計6頭が生き残っており、6月初旬にはコクワガタ1♂1♀, スジクワガタ1♀だけになった。なお、この3頭は現在も生きている。 (5. VIII, 1973)

淡路島のカミキリムシ追加 (1)

堀 田 久

筆者は、淡路島のカミキリムシについて本誌 No. 8 に発表した。それは筆者と登日邦明氏の保有する標本だけをもとにしたものであった。その後新たに採集したものと、文献によるものを併せると5種類が追加され、淡路島のカミキリムシは丁度50種を数えることになったので、ここに報告しておく。なお、本稿を草するに当たり、いろいろとご教示いただいた辻啓介氏に深謝の意を表したい。

1. ニセノコギリカミキリ *Prionus sejunctus* Hayashi

洲本市上灘中津川, 1♀, 15. VIII, 1972

蛾類の夜間採集を行っていたとき、螢光灯に飛来したものである。

2. トゲヒゲヒメカミキリ *Allotraeus rufescens* (Pic)

洲本市安乎町, 8♂4♀, 17~30. VI, 1973

採集品は、いずれも筆者の自宅の灯火に飛来したものである。